

令和5年6月18日  
今週のベストショット



雁レク軟式3 塩浜ジャガーズ 対 新町ウィンズ

四回表、塩浜ジャガーズ七番一ノ瀬選手の満塁HRが飛び出しても、失点多く逆転負けを喫する。

写真：ブルーマーリンズ 山本 憲明

雁レク軟式3 両者譲らない得点の取り合いの先は・・・

塩浜ジャガーズ（1勝2敗）10442 11 立石、内田●一角

新町ウィンズ（1勝3敗）2118X 12 桐島○一今林

HR：吉田、一ノ瀬（塩浜ジ）花田）、山口（新町ウ）3BH：内田（塩浜ジ）

2BH：竹尾、立石（塩浜ジ）柴田（新町ウ）2

一回表塩浜ジャガーズの攻撃は、内田選手による強烈な三塁打から始まったがその後は打線が続かず、新町ウィンズのショート長岡選手がきれいに捌き併殺にて1点となった。その裏、ウィンズの攻撃は四番柴田選手の二塁打が出るも、立石投手による好プレーにて2点となった。二回裏、花田選手の三塁線を抜く本塁打がでるも後続が続かず1点の追加で終わった。三回表、なんとか得点を返しておきたい塩浜ジャガーズは、出塁するも得点できないまま二死で迎えた五番吉田選手による本塁打などで一挙4点を奪う。その裏、ウィンズは柴田選手の二塁打で1点を返すも立石投手に抑えられる。四回表、1点リードで迎えたジャガーズは立石投手の乱れにより連続四球で二死満塁の場面を迎え、七番一ノ瀬選手の左中間を抜く満塁本塁打で一挙4点を追加する。その裏、追いかける新町ウィンズは一番山口選手から始まる好打順。内田投手の乱れもあり、六番長岡選手、七番花田選手、八番野中選手と打線が続き、一番山口選手の本塁打で8点の大量得点で逆転に成功。五回表、ジャガーズは安打を繋いで得点を返すも2点とあと一步足りずゲームセットとなった。お互いに走者が溜まったタイミングでの本塁打があり、勝負の行方が最後までわからない、見ていて手に汗握る試合となった。

（記事：ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真：山本 憲明）



新町ウィングス先発の桐島投手。



塩浜ジャガーズ先発の立石投手。



塩浜ジャガーズ二番手の内田投手。



好プレーを見せる塩浜ジャガーズ立石投手。



右中間への本塁打を放つ塩浜ジャガーズ吉田選手。



左中間への二塁打を放つ新町ウィングス柴田選手。



満塁本塁打を放つ塩浜ジャガーズノ瀬選手。



逆転打で激走する新町ウィングス山口選手。



本塁打を放った吉田選手（左）と一ノ瀬選手（右）。



今シーズン初勝星の桐島投手。



逆転決定打となった花田選手（左）と本塁打を放った山口選手（右）。

### 青松園B 9安打10得点で三球会大勝！！

三苦三球会（3勝）2060020 10 鮎川○、堺（達）、鮎川ー藤澤（隆）

奈多クラブ（5敗）0001000 1 今林（瑠）●、吉田、西宮ー安河内

HR：堺（太）（三球会）安部（奈多ク）2BH：浜口、岩本、藤澤（康）（三球会）

絶好のソフトボール日和の中で行われた三球会と奈多クラブの試合。先行の三球会が一番藤澤（康）選手が四球で出塁すると、三番浜口選手のタイムリー二塁打などで2点を先制。三回には先頭の藤沢選手が本日2個目の四球で出塁し、4連打と堺（太）選手の3ランHRで一気に6点を奪い試合を優位に進める。なんとかしたい奈多クラブだったが四回に安部選手の超特大ソロHRで1点を返すのがやっとで、三球会投手陣から追加点を奪う事が出来ない。三球会は六回にダメ押しの2点を追加し10対1でゲームセット。毎回の先頭バッターを四球で出塁するなど、三球会の先頭バッターの意識の高さが光った試合でした。（記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和）



三苦三球会先発の鮎川投手。



奈多クラブ先発の今林（瑠）投手。



先制のホームを踏む三球会藤澤（康）選手。



右中間へHRを放った塚（太）選手。



二番手で好投をした三球会塚（達）投手。



超特大HRを放った奈多クラブ安部選手。

### 青松園A シーズーゲームの行方は？

和白新町パイレーツ（2勝2敗1分）30210 6

三苦ホーネッツ（2勝1敗）4021X 7

HR：今泉、山本（新町パ） 3BH：広木（三苦ホ）

2BH：山本、松藁、本堂（新町パ）佐藤（三苦ホ）

岩吉●ー今村

平川、矢野○ー広木、竹井

初回和白新町パイレーツの攻撃は、三苦ホーネッツ平川投手のピリッとしめない立ち上がりを一気に畳みかける。一番パイレーツ山本選手がいきなり二塁打で出塁すると、二番今村選手のバントヒットなどでチャンスを作り、三番白岩（将）選手の犠牲フライ、四番今泉選手2ランHRで3点を先制する。昨年王者の意地を見せたい強力打線のホーネッツは、ヒットや相手一塁手の2エラーなどで一挙4点を挙げ逆転に成功する。初回にかなりの攻撃の時間を使ったのとは対照的に二回は両チームともエースが好投を見せ互いに無得点に終わる。試合が動いたのは三回表、パイレーツは二番今村選手がヒットで出塁すると八番松園選手のタイムリーなどで2点を追加する。しかし、すぐさまホーネッツは四番佐藤選手、六番今田選手のタイムリーで逆転する。四回にも1点ずつを追加した両チーム。時間的にも最終回の五回表、なんとか追いつきたいパイレーツはホーネッツ二番手のベテラン矢野投手を攻め、六番本堂選手の二塁打などで無死二三塁の一打逆転のチャンスを作る。しかし矢野投手も踏ん張りを見せ二死満塁までこぎつける。ここで打席は先ほど矢野投手からHRを放っている一番山本選手に回る。手に汗握る攻防は山本選手を捕飛に打ち取った矢野投手に軍配が上がり無失点でしのぐことに成功。次のホーネッツの攻撃中に時間となりゲームセット。ホーネッツは辛勝であった。パイレーツは二年連続1点差としっかりと無敗王者に食らいつきはしたものの試合内容的に勝てたゲームをみすみす逃したのが悔やまれる。終わってみれば初回の攻防が最後まで尾を引く非常に見ごたえのある面白い試合展開であった。

（記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久）



三苦ホーネッツ先発の平川投手。



初回3ランHR、和白新町パイレーツ四番今泉選手。



和白新町パイレーツ先発の岩吉投手。



ホーネリリーフベテラン矢野投手。



レフトへの技ありヒットを放つホーネッツ四番佐藤選手。



五回表、同点HRを放つパイレーツ一番山本選手。